



題名：ゴシック体 15ポイント

氏名（発表者）*，氏名**：明朝体 14ポイント

*所属：明朝体 12ポイント

所属：複数氏名で所属が異なる場合、で対応をとる

英文題名：Times 系 12ポイント

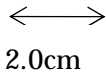
英文氏名：Times 系 11ポイント

所属(英文)：Times 系 10ポイント

The abstract should be written with around 100 words and *****
***** 《英文アブストラクトは、Times 系 10ポイントを使用し、
100 words 程度にまとめる。行間隔は 1 行分とする。》
150mm 程度

1. はじめに

これは、日本画像学会 I C J 2 0 0 6 予稿集原稿
見本となっています。投稿の際、著者は「予稿集
原稿作成要領」を熟読のうえ、この体裁に原稿を
仕上げて下さい。



2. 書体および段落

2 - 1. 文字サイズと改行

著者名は、15ポイント 32字以内、これを越
える場合は行を改める。著者欄は、中央に合わせ
る。本文は、10ポイント 22字の 2 段組とし、
段間は、10mmあける。

2 - 2. 書体

題名、章および節名は、ゴシック体とする。本
文は、明朝体とする。英文題名、著者名は、
Times 系とする。

2 - 3. 図、表

タイトルおよび説明文は英文で書き、図面は明
瞭なものとするために直接プリントするか、別葉
を貼り付ける。写真は、白黒のコントラストの高
いものを用いて裏面に氏名と上下の指示を記入の
うえ、用紙に貼り付ける。

見出しは、表は上部、図は下部にそれぞれ
Fig. 1、Table 1 のように示す。文字書体 / サイ
ズは、Arial 10ポイントとする。

Table 1 Sample of table

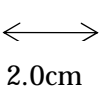
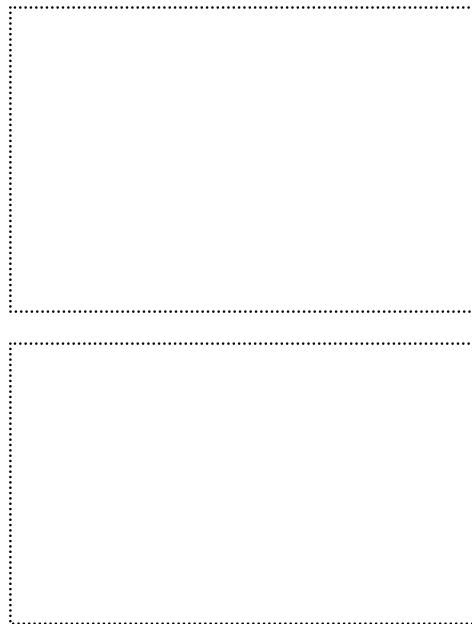
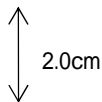


Fig. 1 Sample of Figure Arrangement

参考文献

- 1) 日本太郎，画像花子：“JH2000原稿の書き方”，
日本画像学会誌，Vol.84,No.2(1999)pp.612-614
2) T. Nihon, H.Gazou:

脚注には、住所(和文、英文)を記入(各1行)する。
文字サイズ8ポイント、和文は明朝、英文Times系。
* 〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5
* 2-9-5 Honcho, Nakano-ku, Tokyo, 164-0012, Japan
e-mail: gazou@isj.org



サンプル

ハードコピー上とソフトコピー上における思考作業効率の比較

内山 直人* , 面谷 信 , 高橋 恭介

*東海大学 工学部 光学工学科

Comparison of Thinking Efficiency between Softcopy and Hardcopy

Naoto Uchiyama, Makoto Omodani, and Yasusuke Takahashi

Department of Electro-Photo Optics, Faculty of Engineering, Tokai University

Information on VDT(Visual Display Terminal) is tend to be often printed as hardcopy only for the purpose of getting more comfortable reading conditions. Electric mail with large volume of texts, for instance, is frequently printed wastefully.

1. はじめに

最近では、インターネットの急速な普及等により家庭にまでもパソコンが普及し定着しつつある。これに伴って、.....
に比較することを試みた。.....

そこで本研究では、まずソフトコピー上作業とハードコピー上作業を思考作業効率の観点から定量的に比較¹⁾することを試みた。.....
.....ハードコピーの利点を持ち合わせた新しい媒体²⁾のコンセプトの必要条件について探ることも意図するものである。



Fig.1 Sample of Figure Arrangement

2. 実験方法

2 - 1 . 実験内容

被験者に対し、ハードコピー上およびソフトコピー上において簡単な文章問題を提示し、各々への解答に要した所用時間と正解率について比較・検討した。.....

Table 1 Sample of table



3. まとめ

本実験ではソフトコピーとハードコピーの媒体を各々水平・垂直の2状態においた計4種類の作業条件において、文章読解の作業を被験者に行わせ、読解速度・正解率についての客観定量評価、および被験者の感想を集計した.....

参考文献

- 1) 増田勝彦, 面谷信, 高橋恭介: “VDTとハードコピー上における思考作業効率の差に関する研究”, 第59回応用物理学会秋季学術講演会, p394(1988).
- 2) 面谷信: “デジタルプリンティング技術の最近の動向~デジタルプリンティングからデジタルペーパーへ”, 電子情報通信学会技術研究報告, E1D97-160, pp.35-40(1998).
- 3)

*〒259-1292 神奈川県平塚市北金目1117

*1117 Kitakaname, Hiratuka-shi, Kanagawa, 259-1292, Japan

e-mail: uchiyama@tokai.ac.jp